

第21回旧RD最終処分場問題連絡協議会

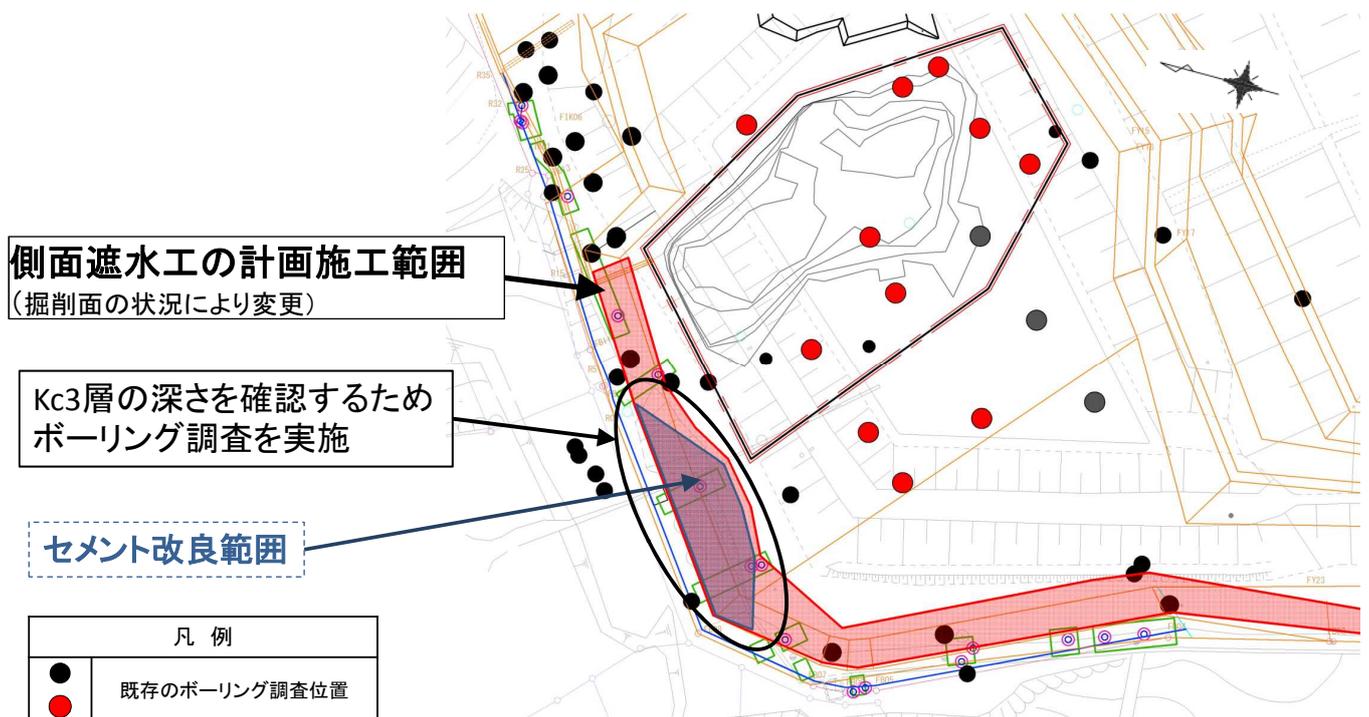
# 工事の施工方法について

平成29年9月11日

## 側面遮水工の施工方法

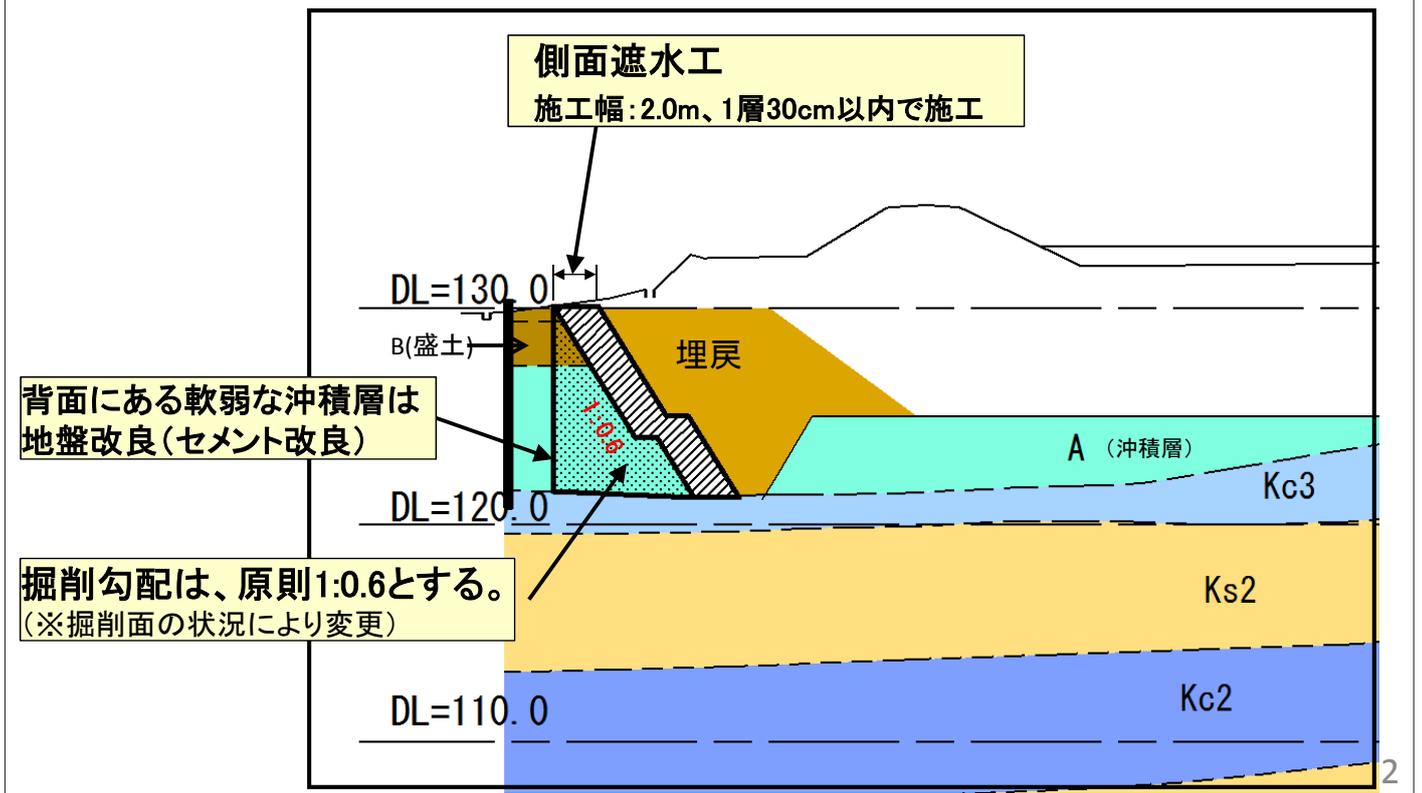
### 1) 国道側の側面遮水工の施工範囲

廃棄物掘削面の側面に出現するKc3層より上位の透水性のある地盤に設置する。



# 側面遮水工の施工方法

## 2) 国道側の側面遮水工の基本構造

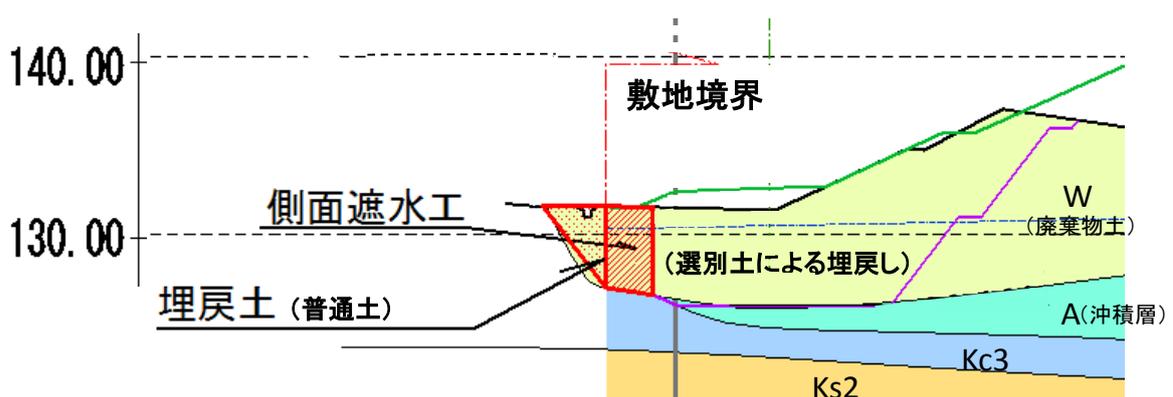


# 側面遮水工の施工方法

## 3) 西市道側の側面遮水工の配置

- ・敷地境界に側面遮水工を施工するために、一部敷地境界を越えて掘削を行う。
- ・側面遮水工は、敷地境界に沿って垂直に設置し、外側は、普通土で埋戻しを行う。
- ・西市道側では、敷地境界をはみ出して旧栗東町廃棄物埋立地由来の廃棄物が一部分布している。

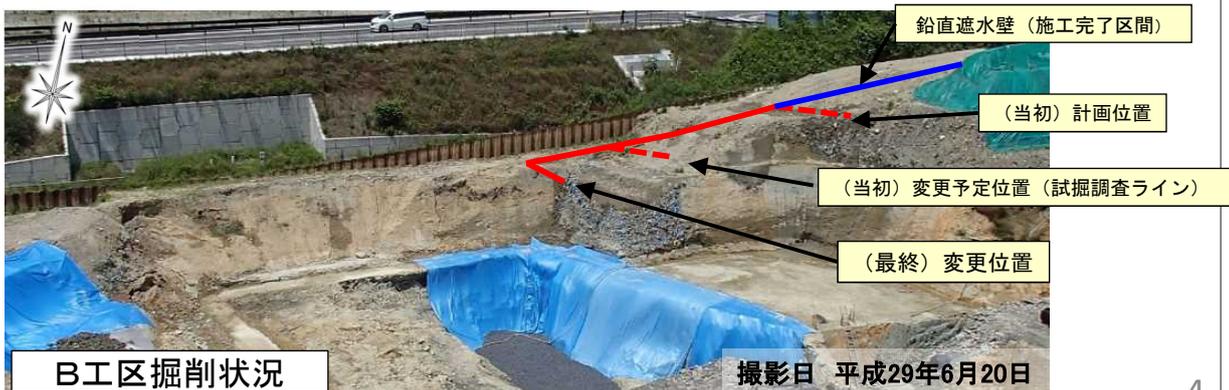
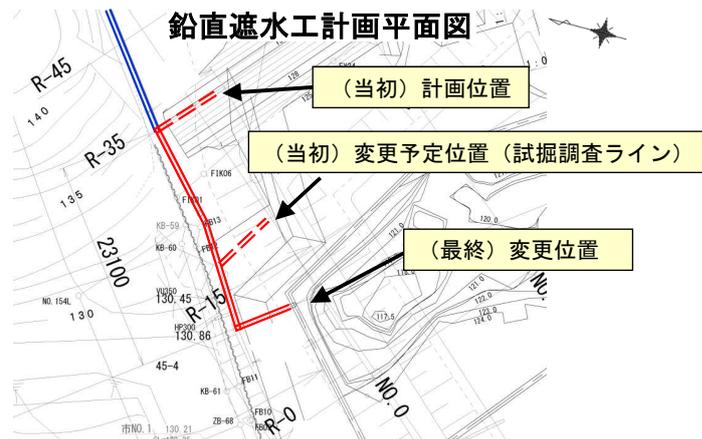
No.2断面



# 鉛直遮水工の端部(折れ部)の位置の変更

①当初計画位置付近には、敷地境界付近まで廃棄物が深く分布していることがボーリング調査で判明したため、地山の存在が確認された試掘調査ラインまで延長する予定であった。

②試掘調査ラインで、ボーリング調査を行ったところ、この付近にもまだ廃棄物が存在していることが確認されたため、確実に鉛直遮水工が施工できる最終変更位置で施工を行うこととした。



## 特定支障除去等事業 実施計画の変更

### ■実施計画の変更理由

○総額70億円の事業費で実施計画を策定し、二次対策を実施しているが、事業費が70億円を超過する見込みとなったことから、実施計画の変更を行うもの。

### ■実施計画の主な変更箇所

(1)二次対策事業に要する費用を、総額「約70億円」から「約81億円」に変更

(2)有害物掘削除去に係る矢板設置工法の変更

・大型の鋼材や大きなコンクリート殻等、施工に支障となる廃棄物が埋められていても対応可能な工法に変更。

(3)一次対策が完了したこと、追加調査により新たにわかったこと等について記述を時点修正。

#### (主な箇所)

- ・D、E工区においてボーリング調査を追加したところ、粘性土層の欠損範囲が想定より広がっていることを確認したこと。
- ・沈砂池として利用していたため調査できなかった箇所(B工区)について、沈砂池の機能が不要になったことから、ボーリング調査を追加実施したところ、地山の状況や土壌の汚染に係る環境基準値を超過した箇所を確認したこと。
- ・事業の対象地については、順次担保権の抹消等権利関係の整理と地権者との寄付交渉を行い、平成26年度にすべて県有地化したこと。

### ■スケジュール

○8月 8日 (火)	常任委員会	実施計画の変更に係る概要について	説明
○8月22日 (火)	環境審議会	実施計画変更案	意見照会
○8月下旬～	栗東市	実施計画変更案	意見照会・回答
○9月15日 (金)	環境審議会	実施計画変更案	意見回答
○10月	常任委員会	実施計画変更案の審議	
○11月～	環境省	実施計画変更申請	
○12月～	環境省	実施計画変更	環境大臣同意